

# 日胆・函館・後志



ニュースのお知らせは

最寄りの支社局  
苫小牧支社

☎0144(33)0161  
FAX(31)2109

函館支社

☎0138(52)3870  
FAX(21)2185

小樽支社

☎0134(33)0866  
FAX(31)2031

室蘭支局

☎0143(24)5188  
FAX(25)2235

## 小樽建管

# 砂防ダム2基緊急改築

## 蘭越町内オサンナイ川 23年度着工へ

【小樽】小樽建管は蘭越町内を流れるオサンナイ川の砂防事業で、老朽化が進む2号ダムと3号ダムの緊急改築を計画している。9月にも2号ダム副堰堤設計を指名競争入札。2023年度の着工、24年度の事業完了を目指す。総事業費は3億2000万円を試算している。

オサンナイ川は御成地区を流れる尻別川の支流。尻別川合流地点から2.5キロ上流に位置する2号ダムは堤長149.9メートル、堤高10.7メートルで1970年に完成した。3号ダムは2号ダムの下流に建設した。堤長78.1メートル、堤高7.7メートルで72年に建設した。いずれも設置から約50年が経過し、劣化が著しい。18年度末に道建設部が策定した北海道砂防関係施設長寿命化計画に基づき、老朽化対策として国の交付金を活用し緊急改築する。

21年度に事業着手し、2基の本堰堤設計や砂防調査を進めた。22年度は5月に工事用道路の設計を東亜エンジニアリングが受注した。施工内容として、堰堤ひび割れ箇所へのセメント注入などを予定している。

中。3〜4カ月程度の業務期間を見積もり、着工想定している。

## 旧堺小擁壁改修工法を検討

### 測量と地質調査、設計入札へ



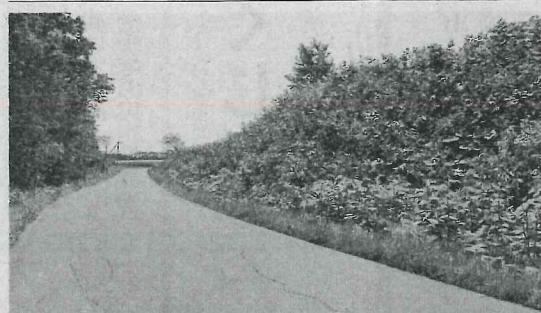
【小樽】小樽市は、3月に一部崩落した旧堺小の擁壁改修工法検討にかかる測量、地質調査、設計を指名競争入札する方針だ。7日開会の第2回市議会定例会に測量費など1000万円を追加する補正予算案を提出した。

旧堺小は東雲町9の12にあり、シルバー人材センターなどが入居。建物周囲を囲む石積み擁壁の一部が3月に崩落し、現在はブルーシートと土のうで応急対策している。改修工法の検討に当たり、測量と地質調査、設計を進め、工事規模を決める。これら業務を分割して入札するかは検討中。

## 法面整備10月にも指名

### 今金町 田代高台線170m

【函館】今金町は、田代高台線の法面整備を最短期間で10月上旬に指名、同月下旬に入札する。延長7.7メートルの片側1車線道路約170メートルで、工期に3週間を要する。南側を走る。田代橋を越えた先にある道路西側の法面は急傾斜で、冬には大きな雪庇(せつぺ)ができる。崩れた雪が道路まで流れ込み、道路を頻りにふさいでいる。このため、法面を急傾斜に直して、雪庇がたまりにくく、道路が狭くなるのを防ぐ必要がある。田代橋を越えた先にある道路西側の法面は急傾斜で、冬には大きな雪庇(せつぺ)ができる。崩れた雪が道路まで流れ込み、道路を頻りにふさいでいる。このため、法面を急傾斜に直して、雪庇がたまりにくく、道路が狭くなるのを防ぐ必要がある。



田代橋を越えた先にある道路西側の法面は急傾斜で、冬には大きな雪庇(せつぺ)ができる。崩れた雪が道路まで流れ込み、道路を頻りにふさいでいる。このため、法面を急傾斜に直して、雪庇がたまりにくく、道路が狭くなるのを防ぐ必要がある。

## 函館新道沿い彩る 「はこだて花かいどう」活動

【函館】国道5号函館新道沿いを花で彩る「はこだて花かいどう」の活動が、5月14日に開催された。参加者が「はこだて花かいどう」の花を植えた。



この活動は、函館市右川地区で開催された。参加者が「はこだて花かいどう」の花を植えた。

地域のために心を込めて花を植えた。ヤベゴニアの花苗8000株を植えて、地域の景観向上に寄与した。

## 八雲バイパスに マリーゴールド

### ツバメ工業と 東陽建設委任

【函館】ツバメ工業(本社・八雲)と東陽建設(同)は14日、八雲地方法人会八雲支部主催の「花いっぱい道」花植

エポランテア活動に協力し、国道5号八雲バイパスにマリーゴールドを植えた。

植栽したマリーゴールドを、10月9日の第2回一般会計に91万円を予算を可決し、町文化センターに交付した。

## 会員の安全と健康願う 建災防小樽が本格着工期へ



交通事故、労災ゼロを願った

【小樽】建災防小樽分会は14日、市内の水天宮で安全祈願祭を開いた。中野豊分会長ら14人が参加し、無事故無災害を祈願した。第1回安全指導パトロールに先立って実施。玉串をさげ、本格着工期へ会員の安全と健康を願った。この後、小樽労働基準の高津信之署長と佐藤憲司安全衛生課長が加わり、

2班に分か市町の4現ルした。小樽市グラウンド。【小樽】小樽市は、2022年度に本格着工期へ会員の安全と健康を願った。

## 室蘭をもう一度輝く街に

室蘭洋上風力関連事業推進協議会(MOPA)の上村浩貴理事長は14日、室蘭清水丘高で講演した。全生徒450人を前に、日本のエネルギーを担う浮体式洋上風力発電の可能性と、天然の良港と製鉄・製鋼の二次産業を持つ室蘭が製造、建設、発電の拠点として貢献できることを強調。実現に取り組みMOPAの活動を紹介した。

同校が「総合的な探究の時間」として企画。卒業生や産業構造の転換で衰退している上村理事長は、石し、「私が卒業した当時は炭の積み出し港として発展人口10万人近く、今は1万

## 室蘭洋上風力関連 事業推進協議会 上村浩貴氏



洋上風力拠点化にける思いを語る上村理事長

## 二大産業生かし製造、建設、発電拠点へ

8000人となった」と話し、人口減少を止め、街に活力を取り戻すことが必要だとした。気候変動対策で先進国が化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を図る中、室蘭の洋上風力拠点化へ産、学、官、金融の4者で取り組むMOPAの活動を説明。持続可能な社会づくりに貢献することで、一室蘭をもう一度、格好良く、輝く街にしたい」と意気込みを示した。

近年、中国などが洋上風力開発を進める中、政府は2040年までに4500万キロワットの導入目標を設定。「実現すれば欧米や中国に続く世界3、4位の規模となる。大きな産業が暮を開けようとしている」と述べ、市が5月に洋上風力発電の基地港湾指定を国に希望したことを「活動の成果と感謝している」と喜んだ。

【苫小牧】苫小牧電業協会は14日、地域貢献活動の一環で苫小牧川遊歩道の約1.5キロを対象に照明灯清掃ごみ拾いに取り組んだ。中村衛会長をはじめ、20社から27人が参加。ごみ拾いは、火ばさみとごみ袋を手にプラスチックや紙ごみなどを収集した。

【苫小牧】苫小牧電業協会は14日、地域貢献活動の一環で苫小牧川遊歩道の約1.5キロを対象に照明灯清掃ごみ拾いに取り組んだ。中村衛会長をはじめ、20社から27人が参加。ごみ拾いは、火ばさみとごみ袋を手にプラスチックや紙ごみなどを収集した。

【苫小牧】苫小牧電業協会は14日、地域貢献活動の一環で苫小牧川遊歩道の約1.5キロを対象に照明灯清掃ごみ拾いに取り組んだ。中村衛会長をはじめ、20社から27人が参加。ごみ拾いは、火ばさみとごみ袋を手にプラスチックや紙ごみなどを収集した。

【苫小牧】苫小牧電業協会は14日、地域貢献活動の一環で苫小牧川遊歩道の約1.5キロを対象に照明灯清掃ごみ拾いに取り組んだ。中村衛会長をはじめ、20社から27人が参加。ごみ拾いは、火ばさみとごみ袋を手にプラスチックや紙ごみなどを収集した。

【苫小牧】苫小牧電業協会は14日、地域貢献活動の一環で苫小牧川遊歩道の約1.5キロを対象に照明灯清掃ごみ拾いに取り組んだ。中村衛会長をはじめ、20社から27人が参加。ごみ拾いは、火ばさみとごみ袋を手にプラスチックや紙ごみなどを収集した。